

# 新しい草を求めて

山腹畜産事業に着手す



山腹畜産とは、草と結びつく畜産の意味です。

草との結びつきには、いくつかの方式があるが、夏山冬里方式（夏に牛を放牧し、冬は飼育者の手もとで飼育する方法）は、山腹畜産の主体をなしているものです。

秋田県では、県が出資した県草地開発公社を中心に、農繁期における稲作、酪農の労力競合が避けられるよう、また、農閑期の仕事が増えるので、出かせぎ防止に役立て、稲作と酪農を組み合わせた自主経営農家を育てるため、夏山冬里方式をすすめています。

この事業も3年目を迎えました。40年に男鹿市（乳牛）田沢湖町（乳牛）森吉町（肉牛）東成瀬村（肉牛）の4地区で事業が始まり、昨年いっせいに放牧されております。

昨年はさらに、山内村（乳牛）十和田町（肉牛）羽後町（肉牛）の3カ所が加わり、ことしは、八幡平村（肉牛）と本市の乳牛山腹畜産計画事業がきまり、来年度完成すると県内で9カ所の放牧場ができるわけです。

まず、来春の放牧をめざし、急ピッチに進められている本市の山腹畜産事業（新沢地区）の計画についてふれてみましょう。



## 200頭放牧の大牧場に

本市には、3.900ヘクタールの未利用地があり、このうち原野の状態に放置されている10%程度は、牧野改良によって利用度を高めることができるといふ観点にたつて、雪沢地区が山腹畜産事業地に指定を受けた。

場所は長木の雪沢地区で、60ヘクタールの草地造成をめざし、目下、急ピッチに工事が進められているところ

です。

3.655万6.000円を投ずるこの雪沢山腹畜産事業は、完成すると、約150頭ないし200頭の放牧場となり、毎年、5月1日から10月31日までに牧場で飼育され、冬期間は飼育者の畜舎に帰ってくるという、夏山冬里方式をとっています。

一方、乳牛の導入については、5カ年計画をうちたて、160戸の酪農家をめざしながら、農協の貸付、農業近代化資金、畜産経営拡大資金を活用し1.000頭の乳牛を導入し、現在の酪農所得である1戸平均12万円を、5年ごには40万円に増やそうという計画です。

水田作と酪農との労力競合をさけ、夏期間は山に乳牛を予託放牧し、水田作業に専念できる体制を確立するとともに、冬期間の乾草も補給し、農業経営を合理化しようとする、雪沢山腹畜産パイロット事業は、本市の農業に新しい芽を生み出すことになるものと、この完成が期待されています。

## 国民年金

### 保険料は収穫期に前納を

国民年金の保険料は

20才～34才 月額200円

35才以上は 月額250円の保険料を納付することになっています。

納付は原則として、1カ月分あるいは3カ月分に相当する保険料を、納期ごとに市役所に納付することになっていますが、まとめて納付できる「前納制度」もあります。

この制度は、月々納めることが面倒だという方や、農家のように収穫期にまとまった収入があるという方の便宜をはかって設けたものです。

前納すると、前納した期間について保険料を割りきするたてまえになっておりますので、この制度をご利用ください。なお、前納できる期間は、46年3月分までです。

## 国民金融公庫の

### 年末融資について

国民金融公庫大館支店（三の丸）では、今年度の年末融資を下記のとおり実施することになりましたので、ご希望の方は早目に公庫の窓口または、商工会議所にご相談ください。

記

#### 1, 受付期間

42年10月1日～12月10日

年内に資金を必要とする方は、できるだけ10月はじめから、11月中旬までに申しこんでください。

12月に入ってから申し込みは、事務処理上、年内に貸出しが困難となる場合があります。

#### 2, 貸付条件

金額 最高300万円まで

期間 運転資金 5年以内

設備資金 7年以内

○返済方法 原則として月賦払

○保証人 原則として1名

ただし、200万円を超える場合は担保が必要です。

○利率 年8分2厘